

科目名	異文化理解概論						
英語科目		ナンバリング	(https://syllabus.kyoto-su.ac.jp/syllabus_search/#n) を参照				
開講期	秋学期	開講学部等	外国語学部	配当年次	2年次	単位数	2単位
教員名	浅羽 真由美						

授業概要／Course outline

アジア言語学科英語教職課程関連選択必修科目の一つです。
異文化理解を深めるために必要な概念や理論を学習し、多様性のある社会に順応し活躍するために必要な知識やスキルを身につけるようにします。学習した内容を自身の体験と照らし合わせることで、理解を深め、自身の文化・アイデンティティを客観視する力を身につけます。講義は主に英語で行われます。授業内や課題については英語または日本語を使用してください。、英語で学んだ内容についてまとめる、さらに異文化に関連するトピックに関して、自身の考えや体験について説明できるようにします。

授業形態、授業方法等／Course form・type

【授業形態】

対面授業

【授業方法】

講義

- ・アクティブ・ラーニング授業（形態：反転授業）

このクラスは反転授業形式を取ります。学生は授業前後に動画を通じて学習をすることが求められます。授業活動は動画の内容をもとに進めます。

- ・ICTを活用した授業（形態：遠隔教育（ビデオ・オン・デマンド等））

オンデマンド教材があります。動画を視聴して授業に臨んでください。

授業内容・授業計画／Course description・plan

1: オリエンテーション

授業・シラバスの説明があります。

それぞれの今までの異文化体験・この授業で個人的に達成したい目標について話し合います。

★ オンデマンド

講義に関する10分ほどの動画（視聴期間は1週間）を視聴して小テストを受けてください。

2: 異文化理解の意義

異文化理解を学ぶ社会的・個人的意義について考えます。

★ オンデマンド

講義に関する10分ほどの動画（視聴期間は1週間）を視聴して小テストを受けてください。

3 & 4: 文化とは？「対話シート」アンケート

文化の特徴や様々な側面を学習し、自身の文化について客観的に考えます。自身の文化はどうやって構築されたのか、異文化とは何かということについて話し合います。

「対話シート」アンケートに答えます。

★ オンデマンド

講義に関する10分ほどの動画（視聴期間は1週間）を視聴して小テストを受けてください。

5: カルチャーショック

異文化に適応する際に、どのようなプロセスを辿るのかということについて考えます。自らの異文化経験に基づいて、適応のプロセスを段階ごとに考察します。

★ オンデマンド

講義に関する10分ほどの動画（視聴期間は1週間）を視聴して小テストを受けてください。

6: バーンガ

バーンガというゲームを通じてシュミレーションをします。

★ オンデマンド

講義に関する10分ほどの動画（視聴期間は1週間）を視聴して小テストを受けてください。

7: 固定観念

固定観念が異文化理解に与える影響について考えます。自らの経験を振り返り、自身の抱く、または他人に抱かれた固定観念について話し合います。

★ オンデマンド

講義に関する10分ほどの動画（視聴期間は1週間）を視聴して小テストを受けてください。

8 & 9: 差別

異文化間で起きる差別について理解を深めるために、差別の種類と差別が生まれる背景について学びます。

★ オンデマンド

講義に関する10分ほどの動画（視聴期間は1週間）を視聴して小テストを受けてください。

10: ゲストスピーカー

異文化の分野について話してくれるゲストスピーカーを迎えて話を聞きます。

★ オンデマンド

講義に関する10分ほどの動画（視聴期間は1週間）を視聴して小テストを受けてください。

11: 価値観

人間の決断・行動に深く影響を与える価値観について学びます。自身の価値観を客観的に理解するためのタスクを行い、異文化間での価値観の違い、そして役割を考察します。

★ オンデマンド

講義に関する10分ほどの動画（視聴期間は1週間）を視聴して小テストを受けてください。

12: アサーティブコミュニケーション

異文化を理解することは、自分を理解することである、という概念を軸に円滑にコミュニケーションを図るスタイルを学びます。

★ オンデマンド

講義に関する10分ほどの動画（視聴期間は1週間）を視聴して小テストを受けてください。

13: ファイナルプロジェクト準備

ファイナルプロジェクトの準備をします。

14: ファイナルプロジェクト発表 & 振り返り & 「学習成果実感調査」

ファイナルプロジェクトの発表と提出をします。

ファイナルプロジェクト、課題等に関して学期の振り返りを行います。反省点等についてクラスメートと話し合います。

「学習成果実感調査」に答えます。

事前・事後学修／Preparation and assignments

1: オリエンテーション

事前学習：シラバスに目を通しておいてください。自身の「異文化体験」を書き出しておき、クラスでシェアできるようにしておいてください。

事後学習：クラスで学習したこと、話し合ったことなど振り返りをしてください。

★ オンデマンド

事前学習：教科書の指定された箇所を読んでください。

事後学習：動画をもとに1週間以内に小テストを受けてください。

2: 異文化理解の意義

事前学習：教科書の第1章を読んで、分からない箇所・興味を持った箇所に印をつけておいてください。

事後学習：クラスで学習したこと、話し合ったことなど振り返りをしてください。

★ オンデマンド

事前学習：教科書の指定された箇所を読んでください。

事後学習：動画をもとに1週間以内に小テストを受けてください。

3 & 4: 文化とは？ & 「対話シート」アンケート

事前学習：教科書の第2・3章を読んで、分からない箇所・興味を持った箇所に印をつけておいてください。

事後学習：クラスで学習したこと、話し合ったことなど振り返りをしてください。

★ オンデマンド

事前学習：教科書の指定された箇所を読んでください。

事後学習：動画をもとに1週間以内に小テストを受けてください。

5:カルチャーショック

事前学習：教科書の第4章を読んで、分からない箇所・興味を持った箇所に印をつけておいてください。

事後学習：クラスで学習したこと、話し合ったことなど振り返りをしてください。

★ オンデマンド

事前学習：教科書の指定された箇所を読んでください。

事後学習：動画をもとに1週間以内に小テストを受けてください。

6:バーンガ

事前学習：教科書の第5章を読んで、分からない箇所・興味を持った箇所に印をつけておいてください。

事後学習：クラスで学習したこと、話し合ったことなど振り返りをしてください。

★ オンデマンド

事前学習：教科書の指定された箇所を読んでください。

事後学習：動画をもとに1週間以内に小テストを受けてください。

7:固定観念

事前学習：教科書の第7章を読んで、分からない箇所・興味を持った箇所に印をつけておいてください。

事後学習：クラスで学習したこと、話し合ったことなど振り返りをしてください。

★ オンデマンド

事前学習：教科書の指定された箇所を読んでください。

事後学習：動画をもとに1週間以内に小テストを受けてください。

8 & 9:差別

事前学習：教科書の第8章を読んで、分からない箇所・興味を持った箇所に印をつけておいてください。

事後学習：クラスで学習したこと、話し合ったことなど振り返りをしてください。

★ オンデマンド

事前学習：教科書の指定された箇所を読んでください。

事後学習：動画をもとに1週間以内に小テストを受けてください。

10: ゲストスピーカー

事前学習：ゲストスピーカーを迎えるにあたり質問を考えておいてください。

事後学習：クラスで学習したこと、話し合ったことなど振り返りをしてください。

★ オンデマンド

事前学習：教科書の指定された箇所を読んでください。

事後学習：動画をもとに1週間以内に小テストを受けてください。

11:価値観

事前学習：教科書の第9章を読んで、分からない箇所・興味を持った箇所に印をつけておいてください。

事後学習：クラスで学習したこと、話し合ったことなど振り返りをしてください。

★ オンデマンド

事前学習：教科書の指定された箇所を読んでください。

事後学習：動画をもとに1週間以内に小テストを受けてください。

12:アサーティブコミュニケーション

事前学習：教科書の第14章を読んで、分からない箇所・興味を持った箇所に印をつけておいてください。

事後学習：クラスで学習したこと、話し合ったことなど振り返りをしてください。

★ オンデマンド

事前学習：教科書の指定された箇所を読んでください。

事後学習：動画をもとに1週間以内に小テストを受けてください。

13:ファイナルプロジェクト準備

事前学習：教科書の第15章を読んで、分からない箇所・興味を持った箇所に印をつけておいてください。

事後学習：クラスで学習したこと、話し合ったことなど振り返りをしてください。

★ オンデマンド

事前学習：教科書の指定された箇所を読んでください。

事後学習：動画をもとに1週間以内に小テストを受けてください。

14:ファイナルプロジェクト & 振り返り&「学習成果実感調査」

事前学習：ファイナルプロジェクトを完成してください。

事後学習：ファイナルプロジェクトで学んだこと、この授業で学んだことについて、振り返りをしてください。

授業の進行は学習進度により変更することがあります。

*各対面授業に関する事前・事後学修は約180分を目安とする。事前・事後学習は合計で約2,700分とする。
上記内容を確認して、しっかりと事前・事後学修を行うこと。

授業の到達目標/Expected outcome

- ・自身のアイデンティティを確立・認識する上で、異文化という概念を活用できるようになる。
- ・異文化理解を深めるために必要な知識や理論を考察できるようになる。
- ・文化の多様性を理解し、多様性を尊重できるようになる。
- ・多様性の観点から自身の文化を客観的に見られるようになる。
- ・他文化を客観的に観察し他文化から学ぶとともに異文化に柔軟に適應できるようになる。
- ・英語で異文化理解に関する意見を述べたり理解したりできるようになる。

身につく資質・能力/Competencies to be attained

- ・ 思考力
- 専門知識・専門技能
- 【外国語学部 アジア言語学科】
- ・ 異文化理解

履修上の注意/Special notes, cautions

出席回数が全体の3分の2以上ない場合は「/(出席日数不足)」の評価となります。

- ・ 20 minutes late = 1 absence (20分の遅刻は欠席とみなします)
- ・ 3 times late = 1 absence (遅刻3回は1欠席とみなします)

パソコン等のデバイスを持って授業に参加してください。資料はTeamsにアップロードされます。課題はTeamsで提出してもらいます。

授業も動画の講義も基本的に英語で行われますので、ある程度の英語力や英語力を改善することに関してモチベーションが求められます。メインの教材は日本語ですが、副教材には英語の資料も使用されます。

授業は、講義もありますが、学生が中心となる様々なタスクに取り組んでももらいます。積極的に授業に参加をしてくれる姿勢が求められます。

評価方法/Evaluation

参加10%、小テスト25%、課題50%、ファイナルプロジェクト15%

小テスト、課題、ファイナルプロジェクトのフィードバックは個人の学生に次の授業までに行います。

教 材/Text and materials

グローバルな時代を生きるための異文化理解入門(研究社) 原沢伊都夫

質問や相談の方法/Instructor contact

研究室： 6K317 (第6研究室棟)

オフィスアワー： 金曜日12:30-13:00 (それ以外の場合はアポイントメントをとってください)

オフィスアワー： POSTもしくは外国語事務室前の掲示で確認してください。

メールアドレス： masaba@cc.kyoto-su.ac.jp